

一関工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	人文社会科学Ⅱ (M)	
科目基礎情報							
科目番号	0101			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	授業の際に配布する資料に基づいて実施する						
担当教員	平林 一隆,津田 大樹,千田 芳樹						
到達目標							
①現代の正義論について学び、哲学・倫理学が現代社会の諸問題にどのようにアプローチしているのかを理解する。 ②自然・社会と技術の関わりおよびその役割・意義について理解できる。 ③情報伝達の方法と社会の問題について理解し自分の考えを発表できる 【教育目標】B・E							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
①現代の正義論をめぐる議論についての理解	現代の正義論をめぐる代表的な論者の立場を理解し、説明できる。		現代の正義論をめぐる代表的な論者の立場を理解できる。		現代の正義論をめぐる代表的な論者の立場を理解できない。		
②自然・社会と技術の関わり等についての多角的・複合的理解	自然・社会と技術の関わり等について、多角的・複合的に理解できる。		自然・社会と技術の関わり等について、多角的に理解できる。		自然・社会と技術の関わり等についての多角的に理解できない。		
③資料の読解と論理的考察	資料を正しく読み記述内容を理解するとともに示された課題について発展的に考察することができる		資料を読み記述内容の概略を理解するとともに示された課題について考察することができる		資料を読んで記述内容を理解し考察することができない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	社会の諸課題について異なる専門領域からの複数の視座によって多角的に理解し考える。自己と他者の思惟の相違、個人のかげがえのなさについて考え、文学作品の読解・論述を通して相互理解とヒューマンズムの意味を理解する。						
授業の進め方・方法	講義は複数の教員が順次担当し、各々のテーマに基づいて授業を展開する						
注意点	【事前学習】事前に資料を十分に読み、また関連する時事的な問題についても調べておく。 【評価方法・評価基準】レポート(100%)で評価する。また学修単位科目であるため、各担当者が課す学修レポートの提出が単位取得の条件 (3/4以上の提出) となる。詳細は第1回目の授業で告知する。総合成績60点以上を単位修得とする。 *授業時間内でのヘイトスピーチ、レポートでの差別的言及は厳禁とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	現代の正義論を学ぶ		ロールズの政治哲学が分かるー『正義論』を中心にー		
		2週	ノージックのロールズ判を学ぶ		ノージックのリパタリアニズムの基礎が分かる		
		3週	サンデルのロールズ批判を学ぶ		サンデルのコミュニタリアニズムの基礎が分かる。		
		4週	マッキンタイア、テイラーのコミュニタリアニズムの概要を学ぶ。		マッキンタイア、テイラーのコミュニタリアニズムの概要を理解できる。		
		5週	情報伝達の技術とコミュニケーション		情報伝達の方法と社会との関連性を理解し自分の考えを発表できる		
		6週	情報伝達の技術とメディア		情報伝達の技術とメディアとの関連性を理解し自分の考えを発表できる		
		7週	情報伝達と社会的主体性		情報伝達と社会における個人の主体性の関連を理解し自分の考えを発表できる		
		8週	情報伝達の技術と現代社会		現代における情報伝達の方法と社会の問題について理解し自分の考えを発表できる		
	2ndQ	9週	課題演習		学習内容を踏まえて課題作成ができる		
		10週	社会的資源配分・生産性向上と経済効率の考え方		主な経済学説が、社会的資源配分や生産性の向上について、どのような意味で効率的と捉えているかが理解できる。		
		11週	『自動車の社会的費用』を読む①		『自動車の社会的費用』(宇沢弘文 著)を読み、主な経済学説の意義と限界について理解することができる。		
		12週	『自動車の社会的費用』を読む②		『自動車の社会的費用』を読み、社会的共通資本概念の内容と意義を理解することができる。		
		13週	地球温暖化と経済成長		地球温暖化問題を、社会的共通資本などの概念をもとに、これからの経済成長との関係を視野に入れ、考察することができる。		
		14週	課題演習		10～13週の学習内容を理解し、課題作成ができる。		
		15週	まとめ		学習内容を確認し総括することができる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題 1		課題 2		課題 3		合計

総合評価割合	35	35	30	100
現代の正義論	35	0	0	35
自然・社会と技術の関わり 等についての多角的・総合 的理解	0	35	0	35
論理的読解と論述	0	0	30	30